



# さくらんぼだより

草笛学園 2026年5月号

5月に入りましたね！暖かくなってきて子ども達も外で遊ぶ時は帽子をかぶり、たくさんの汗をかいていますね！また、虫も出てきたり、きれいなお花も咲いていたり子ども達にとっては毎日新しい発見や楽しいことが起きています！

5月は暑い日が多くなるのでこまめな水分補給をして熱中症には気を付けて過ごしてくださいね♪



## 自分を時間軸のなかでみつめられるようになる

5、6歳ごろになると、子どもたちは時間の流れを理解するようになります。こうした認識ができてくると、これまでは活動の結果で評価すること、すなわち「できた」か「できなかった」かでとらえることが多かった子どもたちが、「ここまでがんばったけど、ここはちょっとむずかしかった」と活動のプロセスをとらえられるようになっていきます。長い目でみた場合、子どもにつけたい力は、狭い意味での「できる」ではなく、自分で考え自分で工夫し、うまくいかななくても「どうしてか」と考えたり、自ら相談したりできる力です。そうした力をはぐくむためにも、プロセスを試行錯誤して考えられる活動を用意し、うまくいかないと思っている子どもにも「どうしたの」「どこがむずかしかったの」とゆっくり聞いていくようなことが大切になります。

さらには、時間的認識と結びついて、「前はできなかったけど、できるようになったよ」「前より大きくなったよ」と自分自身についても時間軸のなかでとらえられるようになっていきます。友だちと比べて、「自分はできない」「上手にできない」と自信をなくしがちだった子が、「〇〇ちゃん、ユリ組さんのときよりもずっと上手になったね」「前はすぐ泣いていたのに、ゾウ組さんになったら泣かなくなったね」と自分の変化を認められたとき、大きな自信を持つようになります。そのためには、おとなが、他の子と比べて「できる」「できない」とみるのではなく、一人ひとりの子どもの育ちにきちんと目を向けなければなりません。同時に、大きくなった自分、変わってきた自分を実感できる場や経験が大切になります。イチゴをつぶさずへたを取って洗えるようになった、すぐに泣かなくなった、自転車に乗れるようになった…日々の生活のなかで、自分の育ちを実感できるといいですね。

変わってきた自分に手ごたえをもてるようになるからこそ、「1年生になったら〇〇したい」

「大きくなったら〇〇になりたい」と未来に向かって夢を育むようになります。学童期とは違って、まだまだ現実味は不十分ですから、“ウルトラマンナリタイ”といった内容も多いのですが、自分の未来に前向きに思いをもてることを大事にし、一人ひとりが未来へのねがいははぐくめるようにしたいものです。

参考文献：『シリーズ◎子どもと保育（5歳児）』 秋葉英則・白石恵理子 監修

## ◎6月のさくらんぼ教室のお知らせ◎

さくらんぼ①：6月11日（木）13：00～  
活動・・・『せいさく』  
持ちもの・・・はさみ、のり、マーカー、水筒

さくらんぼ②：6月25日（木）13：00～  
活動・・・『せいさく』  
持ちもの・・・はさみ、のり、マーカー、水筒

### 『参加される皆様へ』 ～ご協力をお願いします～

- ・お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- ・参加費は100円です。おつりのいらぬようご用意ください
- ・トラブルによるけが防止のため、爪は短く切ってください。
- ・水分補給のため、お茶を用意して下さい（ジュース類は控えてください）

